

自由研究

手引書 2

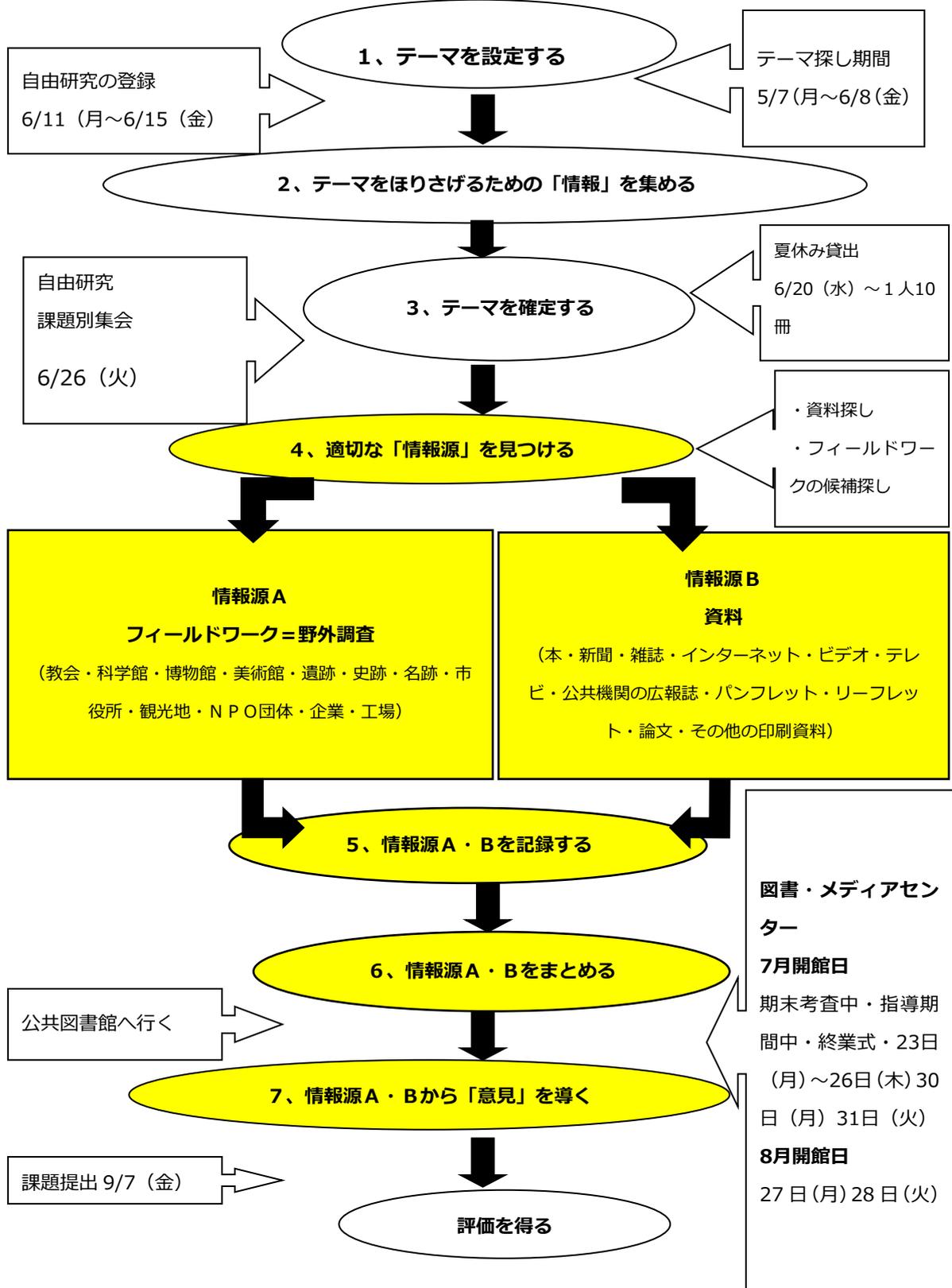
情報収集とまとめ方編



2018年7月

図書・メディアセンター

学びのプロセス



調べるって楽しい！

テーマが決まり、『教科担当者』の先生も決まりました。担当の先生は、専門的な知識を持ち合わせているだけでなく、大学での「研究」の経験者ですから、みんなの自由研究の取り組みにきっとよいアドバイスをしてくれるはずです。何度でも相談に行って、図書・メディアセンターでも相談をして、いよいよ探究の航海に漕ぎ出していきましょう。調べるって楽しい、調べるって苦しい、調べるうちにますますわからなくなってしまう、そんな体験が君を待ち受けているかもしれませんが、それこそが君を成長させる体験です。がんばれ！

手引書2の情報収集とまとめ編では、『学びのプロセス』4～7を説明します。

- 1、テーマを設定する
- 2、テーマをほりさげるための「情報」を集める
- 3、テーマを確定する
- 4、適切な「情報源」を見つける
- 5、情報源A・Bを記録する
- 6、情報源A・Bをまとめる
- 7、情報源A・Bから「意見」を導く



情報を集める前に、テーマについての基礎知識を確認しましょう

資料を読む前に、テーマについて、あなたがどのくらい知っているか、これから何を学ばなければならないかをはっきりさせましょう。

□ **KWLシート**…テーマについてわかっていることと、わからないことをはっきりさせるためのシート

例にならってKWLシートの、わたしは何を知っているか、わたしは何を知りたいかに書き込んでください。

<例> テーマ：万華鏡の鏡はなぜ正三角形が多いのか？

What I Know わたしは何を知っているか	What I Want To Know わたしは何を知りたいか	What I Learned わたしは何を学んだか
<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形の内角の和は 180 度 ・ 万華鏡は美しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正三角形ではなく他の正三角形ではだめなのか？ 	

あなたのテーマ：

What I Know わたしは何を知っているか	What I Want To Know わたしは何を知りたいか	What I Learned わたしは何を学んだか

次に、百科事典であなたのテーマのキーワードとなる語句をしらべてみましょう。そして、テーマについての基礎情報を確認しましょう。

5W1Hシート…いつ (When)、どこで (Where)、だれが (Who)、なにを (What)、

なぜ (Why)、どのように (How) という 6 つの要素をまとめたシート

百科事典で調べたら、例にならって、5W1Hシートに書き込んでください。

<例> テーマ	ピラミッドの形にみられる黄金比の美しさを解明する
百科事典のキーワード	ピラミッド

いつ (When)	5000 年ほど前
どこで (Where)	エジプト
だれが (Who)	技師、石工、彫刻家、農民
なにを (What)	大ピラミッドなら底辺 229m高さ 146m
なぜ (Why)	王家の墓として
どのように (How)	1 : 1.61803 の黄金分比が使われている

あなたのテーマ	
百科事典のキーワード	

いつ (When)	
どこで (Where)	
だれが (Who)	
なにを (What)	
なぜ (Why)	
どのように (How)	

さあ、下準備はできました。情報収集をはじめましょう。

4、適切な「情報源」を見つける

情報源になるもの

家では→ラジオ・テレビ・新聞・雑誌・電話・パソコン・学習タブレット・携帯電話・ゲーム など

街では→広告・看板・標識・チラシ など

学校では→図書・パソコン・学習タブレット・学校放送・掲示板 など

さまざまな情報源があります。どれも、あなたに情報を伝え、教えてくれるものです。

この情報源になるものを「メディア」と呼んでいます。

メディアには、それぞれ特徴があります。メディアの特徴を理解した上で、情報を集め、

調べていくことが重要になります。

情報源	便利な点	心配な点
インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者のものの見方・感じ方・考え方を直接聞ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスしにくい場所なら時間的体力的に限られる
体験	<ul style="list-style-type: none"> ・現実の世界や生活などへの興味・関心がふえ、実際的な問題発見や問題解決の方法が得られる 	<ul style="list-style-type: none"> ・直観または感覚的な段階にとどまってしまう ・体験による認識が独善的になる危険性がある
新聞・広報誌	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースや地方の情報が知りたい時、新しい情報を知ることができる ・複数の人がチェックを行っている（校閲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい言葉が多い
本・雑誌	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知りたいことをわかりやすく、くわしく調べられる ・一つのテーマをじっくり掘り下げて書かれている ・複数の人がチェックを行っている（校閲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の情報がない時がある
インターネット	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの情報を得たい時、新しい情報を得たい時は知ることができる ・誰でもが発信者になれる ・過去の情報も最新の情報も得られる 	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼性に欠ける情報もある ・必要な情報を探すのに時間がかかる ・受け取る情報が、かたよってしまうことも多い
テレビ・ビデオ	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚、聴覚などの人間の感覚に訴えることが多い ・「地震情報」など重要な情報を伝えるのが速い ・楽しみながら情報が得られる 	<ul style="list-style-type: none"> ・やらせ、ねつ造がある ・影響力が大きい
パンフレット	<ul style="list-style-type: none"> ・地域による区分が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場に行かなければ手に入りにくい

メディアの特性を理解して、自分のテーマにはどのメディアがっているかを考えましょう。

同志社中学校では、情報源を大きく A, B に分けて考えていきます。

情報源 A フィールドワーク

…学ぶ対象そのものに近づき「五感（見る・聞く・触れる・嗅ぐ・味わう）」で実物とつきあうことは大切なことです。そのテーマにあった場所を実際に訪れ、あなた自身が感じたことを情報源とします。

また自分だけの感性によるのではなく、より多くのデータをもとに導き出したいなら、インタビューやアンケート調査を行うというのも一つの方法です。実際の現場に立つことと、インタビューやアンケート調査をして多様な角度から情報を集めることも情報源 A とします。

情報源 B 印刷資料とインターネット情報

…現場から学んだオリジナリティある情報はあなただけの価値ある情報ですが、その背景や歴史、裏付けを文献や資料から集めましょう。

情報源 A と情報源 B のどちらも使った研究をしていきましょう。

情報源 A	情報源 B	
フィールドワーク=野外調査 (教会・科学館・博物館・美術館・遺跡・史跡・名跡・市役所・観光地・NPO 団体・企業・工場) インタビュー・アンケート	(本・新聞・雑誌・ビデオ・テレビ・公共機関の広報誌・パンフレット・リーフレット・論文・その他)	確かなインターネット情報

4-1 情報源 A の集め方

あなたは、フィールドワーク=野外調査としてどこに行きますか

場所名

住所
いつ頃行くか

インタビューをさせてもらうステップ

1. 下調べ・・・自分のテーマと取材先の基本的なことは調べておく
2. 予約・・・取材相手にメールか電話で都合を確認する
 どういう目的でどんなことについて聞きたいかはっきり伝える
3. 準備物・・・交通費・時計・記録用具・メモ帳・筆記具
4. 当日・・・撮影・録音は相手の許可をとる
5. 記録・・・5W1Hと自分の感じたことを具体的に記録する
6. まとめる・・・フィールドワークの資料をどこにどう生かすか考える
7. お礼状

<例>

以下は日本外国特派員協会でキッズジャーナリストたちが、宇宙飛行士毛利衛さんにインタビューした内容です。

インタビューカード

Q：初めて宇宙に行った時に思ったことは何ですか。

Q：毛利さんが宇宙に行った時にできなくて今できること、さらに20年後にできるようになっていることを教えてください。

Q：地上の食べ物と宇宙食の違いは何ですか。

Q：毛利さんにとって宇宙はどんな存在ですか。

Q：宇宙に行って、予想と違っていたことはありましたか。

Q：宇宙飛行士の仕事をするうえで大切なことは何ですか。

4-2 情報源Bの集め方

図書・メディアセンターを歩いてみましょう

現在、ほとんどの図書館では、「日本十進分類法」という方法で本を整理しています。本の内容ごとに0類～9類の数字でジャンル分けし、同じ内容の本が同じ場所に集まるようになっています。下記の分類分けをみて、何類にテーマの本があるか見当をつけてみましょう。

□日本十進分類法

0類 全般・図書館について	1類 考え方・生き方・心の本	2類 歴史・地理の本
00 情報科学・コンピュータ	10 哲学	20 歴史・世界史
01 図書館・読書	11 考え方について	21 日本の歴史
02 本・出版	12 東洋の思想	22 アジアの歴史
03 百科事典	13 西洋の思想	23 ヨーロッパの歴史
04 論文集	14 心理	24 アフリカの歴史
05 雑誌・年鑑	15 道徳・人生について	25 北アメリカの歴史
06 博物館	16 宗教・神話	26 南アメリカの歴史
07 新聞	17 神道・神社	27 オセアニアの歴史
	18 仏教・寺	28 伝記 29 地理・旅行記
	19 キリスト教・聖書	
3類 社会についての本	4類 理科・算数の本	5類 工業・技術の本
30 社会科学	40 自然科学	50 技術・工業
31 政治	41 算数	51 土木・環境問題
32 法律	42 物理	52 建物
33 経済	43 化学	53 機械・原子力
34 財政	44 星・宇宙	54 電気・コンピュータ
35 統計	45 地球	55 船・兵器
36 社会・労働・福祉	46 生物・人類	56 金属工業・鉱山
37 教育	47 植物	57 化学工業
38 風俗・習慣・民話	48 動物	58 製造工業
39 国防・戦争・軍隊	49 医学・体・薬	59 家庭科

6類 産業の本	7類 芸術・美術の本	8類 ことばについての本
60 産業	70 芸術	80 言語
61 農業	71 彫刻	81 日本語について
62 園芸	72 絵・書道	82 アジアのことば
63 養蚕	73 版画	83 英語
64 畜産	74 写真・印刷	84 ドイツ語
65 林業	75 工芸・デザイン	85 フランス語
66 水産業	76 音楽・踊り	86 スペイン語
67 商業・貿易	77 演劇・映画	87 イタリア語
68 交通・輸送	78 スポーツ	88 ロシア語
69 通信・放送	79 その他の芸事・ゲーム	89 その他のことば

9類 物語や詩などの本

- 90 文学
- 91 日本の文学
- 92 アジアの文学
- 93 イギリス・アメリカの文学
- 94 ドイツ・北欧の文学
- 95 フランスの文学
- 96 スペインの文学
- 97 イタリアの文学
- 98 ロシアの文学
- 99 その他の文学

あなたは何類の場所に行けばいいでしょう

類

あなたのテーマの分類場所を徹底的に探してみましよう。また、ちょっとはずれた分類にもつながりがあるかもしれません。ぶらぶらと資料を探し歩いてみてください。

図書・メディアセンターにあるレファレンス用紙を活用して、司書に相談するのもよいと思います。

“司書教諭・司書の力を借りる”方法のことを、図書館専門用語でレファレンスサービスと言っています。自由研究の中身を一緒に考えながら、用紙を記入して君の“？”を“！”に変えるお手伝いをします。

これからお話する情報カードをつなげていく時や、結論を導こうとする時に、新たな疑問

がわいてくるものです。研究すればするほど、「わからなくなってしまう」ということもあります。何か他の見方はないかしら？と行きづまることがあるかもしれません。そんな時にもレファレンスサービスを利用してみてください。

同志社中学校 図書・メディアセンター **レファレンス用紙** 相談に乗ってください用紙！

質問日時	年 月 日	質問者氏名	年 組
教科	聖書 国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保体 技術 家庭科 英語 特活		
質問	具体的に		
要求事項	どの程度の詳細さと量が必要か、回答は画像か映像か数値か		
手がかりとなる主題	キーワード、分類、件名 など		
予め選択した情報源			
探索(調査)過程	調査の流れ	情報源	
回答			
回答 関連事項	関係機関等		

図書・メディアセンターで探せた本、公共図書館で探せた本、教科担当者から紹介された本で参考にできそうな本を3冊書きましょう。

(仮のテーマを考えた時の参考資料と同じ本でも可。他にも探せたら書いておこう)。

書名	著者名	出版社	出版年

参考にできそうなインターネットURL

(仮のテーマを考えた時と同じインターネットURL、本でも可。他にも探せたら書いておこう。)

URL	開設者	ページのタイトル	アクセス日

参考にできそうな新聞記事

新聞名	年月日	ページ	記事タイトル

参考にできそうな雑誌記事

雑誌名	発行年月日 号	記事タイトル

--	--	--

参考にできそうなパンフレット・リーフレット

パンフレット・リーフレット名	発行年月日 号	記事タイトル

信頼のある情報を集めよう

◆本の場合◆

- ① 「著者」の信頼性に注目する。奥付に書かれた略歴や主な著作を見て、著者はその分野の専門家か、これまでどのような経歴や業績があるかを調べる。
- ② 「出版年」を見て、書かれている情報が古くないか調べる
- ③ 「版」を見る。何度も改版を重ねている本は、それだけ読者に評価されていることを示し信頼性は高い。
- ④ 「参考文献」「引用文献」を見る。その文献・資料が、学問的に誠実に文献調査を行った上で、自分の論理を展開していることを示しているので、信頼性の参考にする。

◆インターネットの場合◆

① 1つのサイトだけでなく、複数のサイトから情報を得る。

本でもコンピュータでも、自分が探していることが書いてあった！と思っても、もう一つ、ほかの資料を探して同じことが書いてあるかどうか確認します。これを“ウラをとる”といいます。

② できるだけ公的な機関が公表している情報から調べる。

「ドメイン」はインターネット上に存在するコンピュータやネットワークにつけられる記号で、インターネット上の住所のようなものです。このドメインの末尾にある記号で、サイトの種類がある程度区別できます。

例えば、Google <グーグル> で検索する場合

1. 「ドメイン検索」の検索ボックスに「go.jp」と入力して検索をかけます。すると、日

本国の機関の情報だけが検索されます。ある程度信頼できるドメインを以下に紹介しません。

go.jp	日本国の政府機関及び各省庁など
ac.jp	大学校・学校法人・職業訓練校など
or.jp	財団法人・社団法人・宗教法人や、農業協同組合など、日本国法に基づいて設立された法人
ed.jp	保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専修学校など、18歳未満を対象とするもの
co.jp	株式会社・有限会社など、日本において登記を行っている組織
.org	organizationの略で主に非営利団体を対象とした種別

ウィキペディアなどで書かれている情報はヒントにはなっても、論文、レポートの引用には適当であるとは言えません。なぜならウィキペディアの記事は、基本的に匿名の投稿ですから、誰が書いたものなのか分からないからです。個人のサイトやブログのほとんどが匿名です。オンラインの百科事典もたいへん充実していますが、著者が明記されていないものもあります。誰が書いたのか分からない文章は信用しないというのが学術的態度です。「ウィキペディア」「教えてGoo」「Yahoo 知恵袋」等は参考文献や資料にはならないと覚えておいてください。

Webサイトの情報は、販売・宣伝目的のものや、個人的な意見の発信にすぎないことも多い。図書などとは違い、編集者などの客観的な評価を経ていないものも多い。

2. 「ファイルタイプ検索」で「Adobe Acrobat PDF」(PDFファイル)の条件を加えて検索してみましょう。公式な文書類はこのPDFファイルで公開されている場合が多いので、比較的信頼できる情報が集まっているといえます。

3. 情報の作成日や更新日の記述があり、頻繁にメンテナンスがされている。

4. 表やグラフなどの資料がある。書いてあることの証拠となる。

インターネットの世界でこれはまちがいが無い、絶対信頼できる情報だと言いきるのは難しいことです。インターネットの情報だけでレポートや論文を仕上げるのではなく、その研究をされている著者がはっきりし、何度も校正され検分された書籍を必ず参考文献に入れてください。

Q. 「なぜインターネットの情報だけで調べものをしてはいけないのですか？」

A.

インターネットの情報は、販売・宣伝目的のものや、個人的な意見の発信にすぎないことも多いのです。その情報だけが正しいと飛びついてしまう姿勢は見直しましょう。

また、ウェブ上の内容は書き換えが自由です。後日見たときに内容が変わっていることもあります。参考にした情報が後日消えていることもあります。

インターネットの情報だけでなく、「この情報は間違っていないかな?」「おおげさに言っているのじゃないかな?」「公平な見方をしているかな?」と常に見極めることが必要です。信頼性のある情報を選びとり、様々なメディアからの情報を合わせて調べものをしていきましょう。

ワンポイントアドバイス

「〇〇について調べたことをレポートにまとめなさい」という課題が出た場合、検索キーワードに「〇〇とは」という「とは」をつける。

画像を公開した人があらかじめ「自由に使っていい」と宣言している画像がある。クリエイティブ・コモンズ (Creative Commons) の画像を検索したり、“著作権フリー”“フリー素材”のキーワードを入れてから検索する。

キーワードは1つだけでなく、キーワードとキーワードの間にスペースを入れて、複数のキーワードで検索する。

CiNii Books という全国の大学図書館 (1200 館が所蔵するのべ 1 億冊以上の本) の情報が検索できるサービスがある。利用登録なしにご利用でき、最近の本から古典籍、洋書、CD・DVD などまで幅広い検索が可能である。Web から本を検索し、そこからキーワードやインターネット検索を広げる。

図書・メディアセンターでは、過去の朝日新聞&読売新聞の新聞記事検索ができます

①



②



朝日新聞「朝日けんさくくん」

読売新聞「スクールヨミダス」どちらかをクリック！

朝日新聞「朝日けんさくくん」の場合



- ・キーワード (AND OR NOT 検索)
- ・対象期間
- ・朝刊 か 夕刊 か 両方共 か
- ・面名 (分野)
(社会面、国際面、政治面) など

↓
入力
↓
検索

5、情報源 A・B を記録する

情報カードをたくさん集めて記録しましょう

本校の図書・メディアセンターでは情報カードを置いてあります。本の情報カード（ピンク色）とインターネットの情報カード（白色）があります。

集めた情報は、引用なのか要約なのかをはっきりさせて記録しましょう。

レポートの中に引用文として書き写すなら、一字一句そのままを書き写す必要があります。
自分の主張や考え方の参考にしたのなら、要約したものを記録してもかまいません。

本の情報カード

引用 or 要約	引用	要約
著者名		
書名		
出版社		
発行年月日	年	月発行
ページ		
情報の信頼性	◎ ○ △ ×	

新聞・雑誌の情報カード

引用 or 要約	引用	要約
執筆者・記者・文責者		
記事タイトル		
新聞名・雑誌名		
発行年月日	年 月 日	発行
号		号
ページ		
情報の信頼性	◎ ○ △ ×	

インターネットの情報カード

引用 or 要約	引用	要約
URL		
開設者		
ページのタイトル		
アクセス日	年 月 日	
情報の信頼性	◎ ○ △ ×	

- ・情報は最大限に集め、また様々な分野（ジャンル）から集めることを目標にします
- ・情報源 A と情報源 B の間を行き来しながら、考えていきましょう
- ・情報カードは、図書・メディアセンターのカウンターにあります！自由に活用してください。

6、情報源 A、B をまとめる

集めた情報カードを吟味しよう

集めた情報は全部使うという人がいます。しかし、その情報にウソはないか、誇大な表現になっていないか疑ってみることも大切です。また、自分の主張を導くために、関係のない情報もあります。情報の取捨選択を試みましょう。

実際に使用する情報と取捨選択のチェックポイント

- どの人が発信しているのか
- 誰に向けて発信しているのか
- 意見の根拠は確かか
- 事実と意見の区別がはっきりされているか
- 倫理的な問題はないか

「ただ調べただけ」感が残る研究ではおもしろくありません。主張や意見、自分ならどうするか・・・まで踏み込んだ結論を導き出すまとめ方にします。

情報カードを組み立てよう

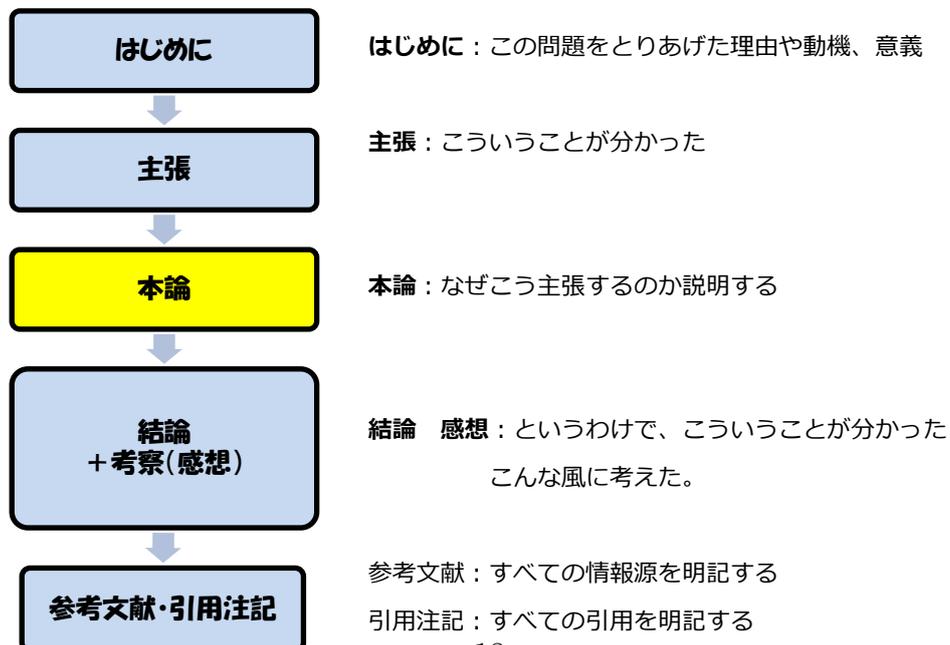
取捨選択した情報カードの情報を「連結」「入れ換え」し、筋が通るように自分の意見を導きます。または、自分の主張が成り立つように組み立てます。

- ・ 情報を単に写すだけの「調べ写し」から抜けだしてください。
- ・ 調べたことを論理的につなげ、誰もが納得できるよう説明をしてください。

レポートや論文の基本はこんな形

自由研究や各教科が出される課題は、だいたいこんな形で提出することになっています。

1 枚レポートであってもこの形を保つようにしましょう。

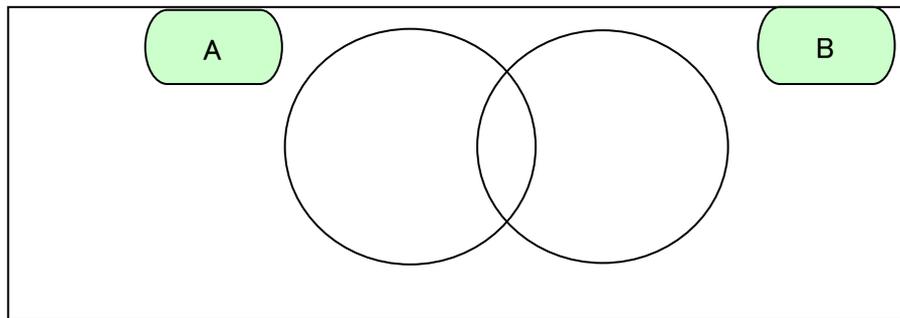


論文・レポートの本論は、結論を導き出すにいたるプロセスです。

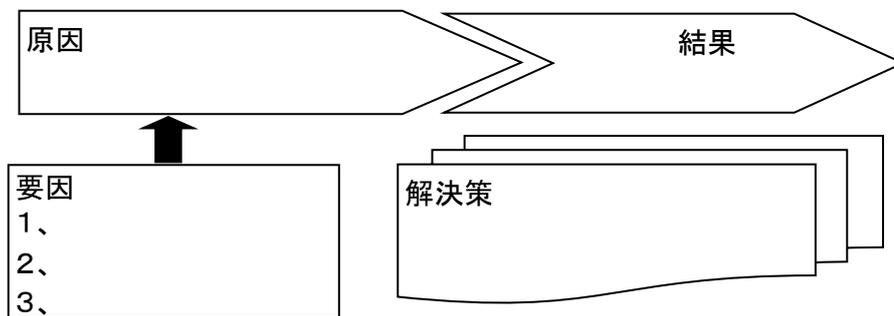
誰でもが納得してもらえらる論理的な組み立てが必要です。ひとつの結論（推論）を導くための根拠や導き方はひとつとは限りません。これらを組み合わせて、説得力のある主張を成り立ててみましょう。

【組み立て例】

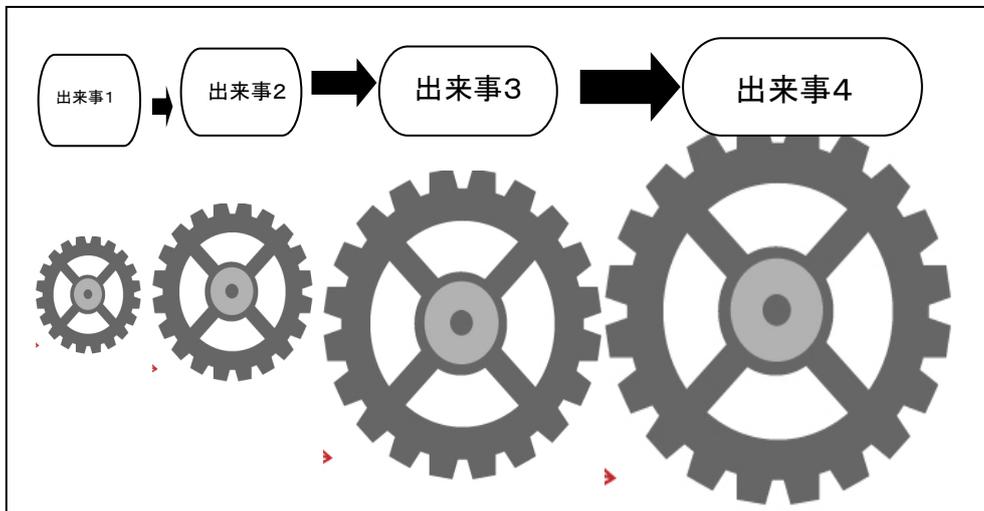
① 比較



② 原因と結果



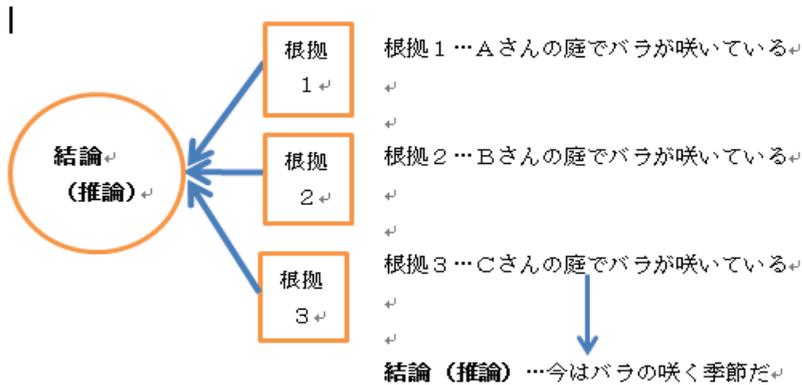
③ 連鎖



④ 帰納法 きのうほう

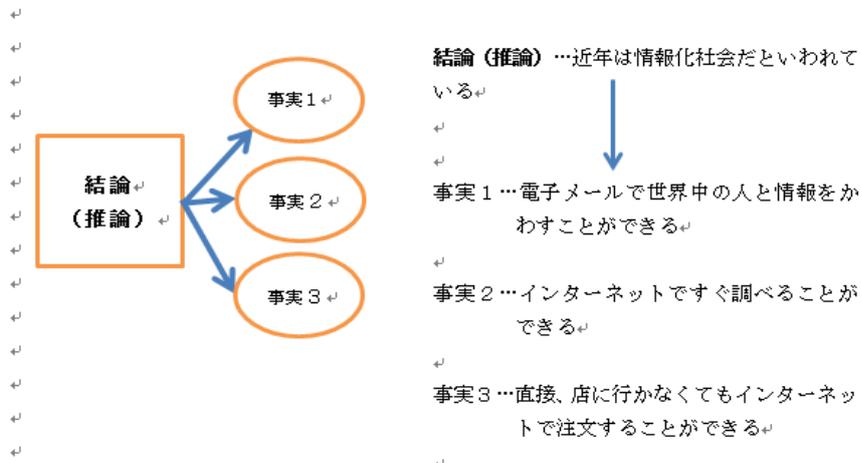
帰納法は、多くの観察事項（事実）から類似点をまとめ上げることで、結論を引き出すという論法です。

観察事項（事実）を積み重ねて結論を出すところは、「理科の実験」的な考え方に似ています。

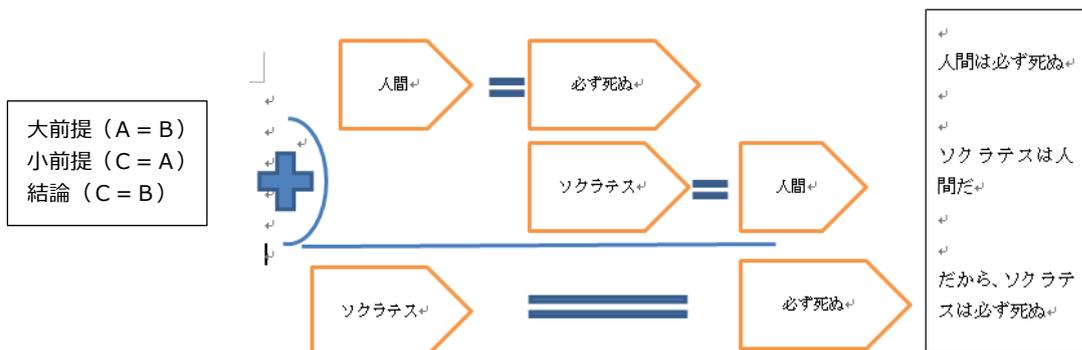


⑤ 演繹法 えんえきほう

前提となる考え方や結論をもとにして、様々な事実について説得力をもって説明する時に有効です。



演繹法の中の三段論法 えんえきほう さんだんろんぽう アリストテレスの三段論法 ありすとてれすのさんだんろんぽう



7、情報源 A・Bから「意見」を導く

結論（意見・主張）を導く

参考資料を読み、考え、実際に調査して、自分なりの見解や意見、感想、つまり主張を創りだします。情報カードを比べてみて、「自分はこう考える、理由は…である」というような書き方にします。資料の受け売りにはならないようにします。

よい研究	よくない研究
自分の言葉で自分なりの見解や意見、感想が書かれている	他人の言葉の丸写し
論理がきちんとしている	論理がバラバラでまとまっていない
参考文献が多い	参考文献が少ない
フィールドワーク・実験・観察・調査を取り入れている	資料の丸写し
図書資料をきちんと引用 引用部分も明示	ネット情報のコピー&ペースト
いろいろなメディアから情報を集めている	1つの情報源しかない
分量が多い	分量が少ない
文字が正確で丁寧	誤字が多く、雑

最後に

参考文献の書き方

「巨人の肩の上」という比喻があります。天才科学者ニュートンも、論敵フック宛の手紙の中で、「私がより遠くを眺めることができたとしたら、それは巨人の肩の上に乗ったからです。」と書いています。

このように皆さんの研究成果は、先人・先輩の業績の上に発展させたものなのです。皆さんの成果を発表する際に、その先輩達の業績を参考文献（引用文献）として示すことは、自らの成果を明確にするとともに、自身の研究基盤の提示、先輩達の成果への敬意を示すことにもなります。

参考文献とは、あなたがレポートや論文を書く時に考え方を参考にした資料のことです。自由研究のみならず、すべての課題やレポートに参考文献を書きます。

あなたが参考にした本、インターネットのホームページ、雑誌、新聞、人からの情報等、全てを、著作権 48 条（出所の明示）に基づいて、明示しなければなりません。無断で使用すれば著作権の侵害になります。イラストや図版などを用いる場合も同様です。

著作権（出所の明示）

第四十八条 著作物の出所を、その複製又は利用の態様に応じ合理的と認められる方法及び程度により、明示しなければならない。

情報カードの上の方が著作権法 48 条の（出所の明示）の必要事項です。見て記入します。

本→

著者名	
書名	
出版社	
発行年月日	年 月 発行
ページ	

インターネット→

URL	
開設者	
ページのタイトル	
アクセス日	年 月 日

新聞・雑誌→

執筆者・記者・ 文責者	
記事タイトル	
雑誌名・新聞名	
発行年月日 号	年 月 号
ページ	

引用注記の書き方

引用とはレポートや論文を書く時に、資料の文章を一言一句書き写すことです。自分の考えではないことをはっきりさせ、誰が書いたものなのかを明らかにしなければなりません。

レポート、論文の文中で、引用した文を“ ”（二重引用符）や『 』（二重鍵かっこ）でくくります。その“ ”『 』（二重引用符）に番号をつけてください。単元の最後に注番号、著者名、書名、出版社、出版年、引

用ページ、URL 等々を書きます。

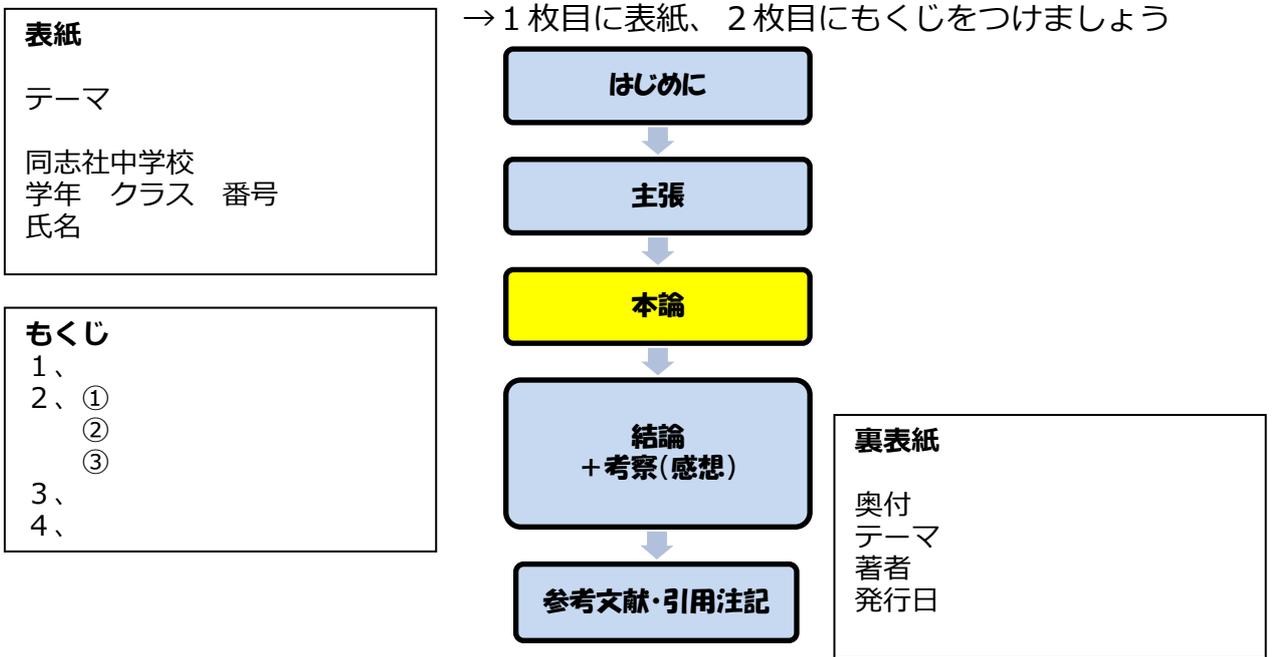
参考文献には、引用注記に明記した資料も書きます。

<例>

『一八八五年一月十八日、午前十時から行われた同志社チャペル（現在、国指定の重要文化財）の定礎式で新島が行った式辞。「チャペルは同志社の精神なり」と力強く断定した。』1)

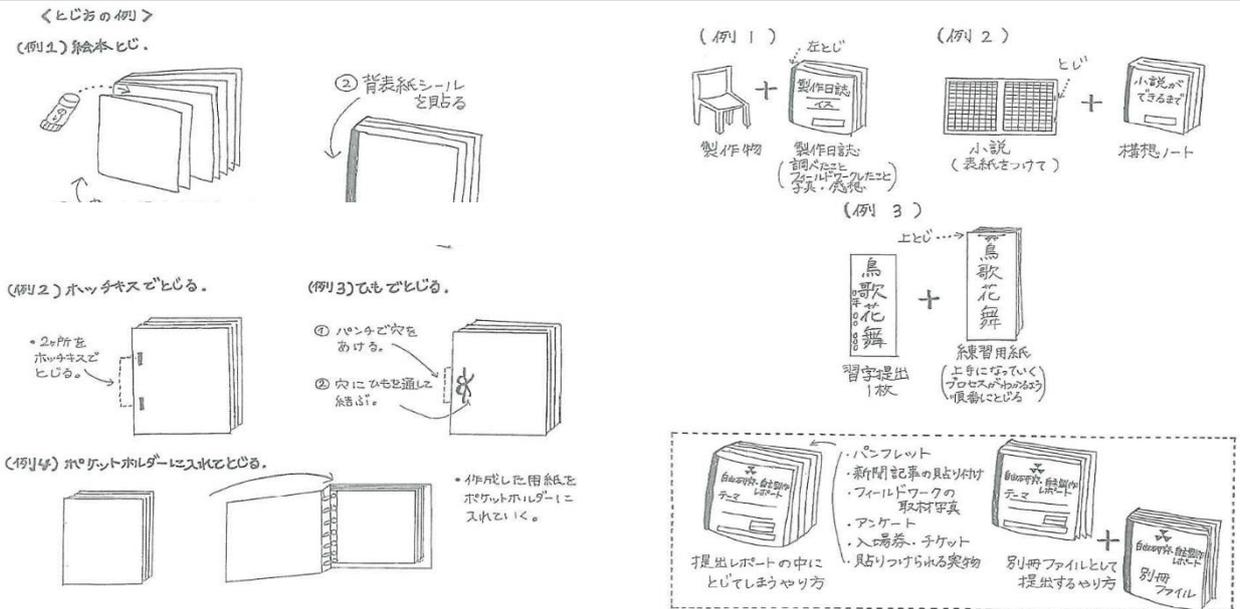
1) 学校法人同志社『現代語で読む新島襄』編集委員会、『現代語で読む新島襄』、丸善株式会社、2000年、181ページ

提出のスタイル



→最後に裏表紙に奥付を書きましょう

提出のしじかた



参考文献

桑田てるみ『探究学習スキルワーク』全国学校図書館協議会 2012 年

桑田てるみ『5ステップで情報整理！問題解決スキルノート』明治書院 平成 23 年

学校法人同志社「確かな学力 P T」『課題解決型学習の第一歩』学校法人同志社「確かな学力 P T」発行 2014 年

様々な情報や自分の体験を盛り込んで
オリジナリティあふれるレポートを期待します！



編集・発行
同志社中学校 図書・情報教育部
発行年月日 2018年7月